

日本学術会議主催公開講演会 (IYPE記念講演会)

「地球を救う みんなの知恵 -最新の科学が明らかにする地球環境の過去と未来」開催のお知らせ

■日時：平成20年11月2日(日) 13:00~15:40

■場所：日本科学未来館(7階) みらいCANホール(東京都江東区青海2-41)

■主催：日本学術会議、国際惑星地球年(IYPE)日本

■協力：日本科学未来館(予定)

■後援：日本ユネスコ国内委員会、朝日新聞社、(独)産業技術総合研究所、(独)海洋研究開発機構、(独)国立環境研究所、国立極地研究所、東京大学地震研究所、日本地球惑星科学連合、稲むらの火の館(広川町教育委員会) (以上予定)

■趣旨：国際惑星地球年(IYPE)とは、地球科学の面白さと大切さを世界中の人々に知ってもらい、その知識と情報を積極的に利用してもらうために、ユネスコと国際地質科学連合(IUGS)が中心となって取り組んでいる国際プログラムです。IYPEでは「社会のための地球科学」というスローガンを掲げ、社会と密接に関連する10のテーマを設け、サイエンス・プログラム及びアウトリーチ・プログラムを実施しています。

本講演会は、現在の地球が抱える問題に焦点をあて、いま地球で何が起っていて、どのような問題があって、それを私たちはどのようにしていかなければならないのかを一緒に学んでいくことを目的としています。第一線で活躍する地球科学者による講演と質疑応答、講演者と参加者が交流を持てるような企画も予定しています。

なお、本講演会は、I*Y国際シンポジウム「IGYから50年-最新情報技術と地球・太陽科学-」(2008年11月10-13日；@つくば；主催：日本学術会議地球惑星科学委員会国際対応分科会、日本学術会議IPY/eGY/IYPE/STPP(IHY)/WDC/CODATA各小委員会)の開催に先立つ一般向け講演会として位置づけられています。

■対象及び定員数：小学校高学年以上の一般市民、定員300名

■参加費：無料

■プログラム(予定)：

開会挨拶

小玉 喜三郎(国際惑星地球年日本会長)

第1部 地球深部探査船「ちきゅう」でみつけた地球の姿

高校生による「ちきゅう」乗船体験レポート

第2部 地球はどうなっているの？

「海からさぐる地球の歴史」

平 朝彦(海洋研究開発機構)

「南極で氷を掘って過去の地球環境変動をさぐる」

東 久美子(国立極地研究所)

「地球はこれからどうなるの？人間が変えつつある地球環境」

江守 正多(国立環境研究所)

第3部 地震を知り、地震にそなえる

人形劇「稲むらの火」・・・人形劇団わにこ／「耐震人形劇」・・・幸田 眞希(聖徳大学短期大学部)

「地震・津波の発生のおしるしと予測」

佐竹 健治(東京大学地震研究所)

■申込：① 電子メール、ファクシミリ又は葉書にて、講演会名、氏名(ふりがな)及び連絡先(電子メールアドレス、ファクシミリ番号又は電話番号)を記入の上、下記担当宛てにお申し込み下さい。

② 定員(300名)に達し次第、締切とします。締切以降の申込者にのみ、その旨ご連絡します。

③ 定員に達しない場合は、当日受付を行います。

【申込・問合せ先】 日本学術会議事務局企画課公開講演会担当(〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34)

電話：03-3403-6295/ファクシミリ：03-3403-6224/電子メール：sympo@scj.go.jp

【関連サイト】 <http://www.gsj.jp/iype/> (国際惑星地球年 日本サイト)